

## 会 議 録

会議の名称	平成26年度 第3回行田市行政改革推進委員会
開催日時	平成26年8月26日(火) 開会：午前10時30分                      閉会：午後12時
開催場所	行田市商工センター401研修室
出席者氏名	阿久津彰男委員、大久保毅委員、大平敏江委員、櫛引浩士委員、長島益世委員、野口啓造委員、政田光生委員、宮田淑尚委員 茂木美智代委員
欠席者氏名	なし
事務局	井澤総合政策部長 企画政策課：岩田企画政策課長、浅見政策推進幹、大木主査
会議内容	司会 浅見政策推進幹 議事 (1) 行田市行財政改革指針(案)について (2) 行田市行財政改革指針の答申(案)について (3) 行田市行財政改革プログラム(素案)について (4) その他
会議資料	○行田市行財政改革指針(案) ○答申書(案) ○行田市行財政改革プログラム(素案) ○行田市の人口動態
その他必要事項	傍聴者 2名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会	<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 議事</p>
司 会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早速、議事に入らせていただく。ここからは、委員会設置条例第5条の規定に基づき、会長に議事の進行をお願いする。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、暫時、議長を務めさせていただく。議事の円滑な進行に皆さんの協力をお願いする。</li> <li>・本日の会議の公開について確認させていただく。本委員会の会議は、これまでも原則公開で開催している。これまでどおり原則公開することよろしいか。</li> </ul>
委 員	<p>（異議なし）</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なお、非公開事項がある場合にはその都度会議に諮って決定することとする。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局に伺う。本日の審議内容に、非公開とすべき事項はあるか。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特段、非公開とすべき事項はない。</li> <li>・非公開事項はないとのことであり、公開して会議を進める。</li> <li>・議事の（1）「行田市行財政改革指針（案）について」、及び（2）「行田市行財政改革指針の答申（案）について」、一括して事務局の説明を求める。</li> </ul>
事務局	<p>（資料「行田市行財政改革指針（案）」及び「答申書（案）」に基づき説明）</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいま事務局より説明があったが、何か意見や質問はあるか。</li> </ul> <p>（特に意見なし）</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、議事（1）「行田市行財政改革指針（案）について」及び（2）「行田市行財政改革指針の答申（案）について」、原案の通りとしてもよろしいか。</li> </ul> <p>（一同賛成）</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、後日市長へ指針（案）と答申書を提出させていただく。</li> <li>・次に議事（3）「行田市行財政改革プログラム（素案）について」事務局の説明を求める。</li> </ul>
事務局	<p>（資料「行田市行財政改革プログラム（素案）」に基づき説明）</p>

議 長 委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいま事務局より説明があったが、何か意見や質問はあるか。</li> <li>・「財政推計」について、平成 29 年度で差引ゼロとあり、32 年度には赤字となっているが、この推計を基に市はどのように対応するのか。また、推計では歳入が減少し、歳出の人件費等が増加している。改革を進める上で人件費はさらに厳しく見積もるべきではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この財政推計の表にある数値は、行財政改革や事業の見直しなど予算規模の縮減を行うことなく推移した場合の一つの想定であることを、まずもってご理解いただきたい。</li> <li>・財政推計上の赤字の要因は、歳出はある一定の水準で推移する一方で、歳入は大きく減少することが予想される。今後は、歳入に見合った財政運営が必要であり、歳入については自主財源の確保、歳出については事業の見直し等による無駄の排除など、歳入、歳出両面から行財政改革を遂行し、赤字にならないよう努めてまいりたい。</li> <li>・人件費については、10 ページの人件費の推移をご覧いただきたいが、本市は南河原との合併直後から職員数の削減に努めており、7 年間で 30 人、給与額は約 17%分を削減させている。また本市の住民に対する職員数は、他の同規模の自治体に比べても少ない状況にある。</li> <li>・平成 26 年度よりも 32 年度の人件費等が増えているが、これは今後予想される退職者数に対してすべて新規採用職員を補充することを条件に推計した結果である。今後は、行財政改革プログラムの中で「職員定員管理の適正化」を位置づけているので、人件費の抑制を進めてまいりたい。</li> </ul>
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間企業でも同じことだが、歳入が 40 億円減少する見込みであれば、歳出も 40 億円削減するプランを立てなくてはいけないと思う。人件費も法律で定まっているので大幅に変えづらいのは理解できるが、このままではさらに厳しい事態になってしまうが、どう考えるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この財政推計は、行財政改革を行う必要性を示す一つの指標として掲載している。改革に取り組むにあたり、効果目標額を立て、その目標に向かって改革を推進することで、財政推計において予想される事態を避けていきたいと考えている。</li> </ul>
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政推計について、今後の財政状況の厳しさを表すためにも、この表に経常収支比率の欄を追加し、掲載してはどうか。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・また、21 ページ以降の「財政効果目標額」について、全体の効果目標額をどの位に置くか、企画政策課で位置づけてから各担当課と協議する方法が良いと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政推計で見込まれる赤字の解消に向けて企画政策課が中心となり、現在各課と調整を行っている。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の市の借入金はどのように推移するのか。</li> <li>・14 ページに市債残高の推移が掲載されている。全体の市債残高は平成 18 年度で約 255 億円に対し、平成 25 年度も約 255 億円とほとんど変化はない。これは特例地方債の臨時財政対策債が急増した影響によるものであり、それを除く一般地方債は年々減少している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後においても、こうした特例地方債の増加が継続した場合、市債残高が大幅に減少することは困難な状況である。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特例地方債が増え続けることにより、一般地方債の起債が減少してしまうと、今後の公共施設の維持補修に係る費用等はどうなるのか。</li> <li>・今後は公共施設の維持補修に対する経費の増大が見込まれるが、過度な財政負担とならないように必要な事業については計画的に実施してまいりたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・32 ページの「指定管理者制度の運用の見直し」について、制度を導入している施設はすべて非公募で選定しているとのことなので、公募制を前提に改革を行っていただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・また、55 ページの「ゴミ処理施設の広域化」について、新施設の建築や既存建物の取壊しなど、今後大きな建設予算が組まれると想定されるので、適切に行っていただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者制度の導入目的は、民間活力の導入と経費の削減であり、平成 28 年度に指定管理者の新たな指定を行う予定である。今後、指定管理者制度の運用方針の見直しを進めていく中で検討してまいりたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ処理施設の広域化については、本プログラムに位置付けを行ったところであるが、今後の事業の推進に当たって、財政負担や費用面などを勘案して適切に対応するよう関係課に伝える。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政推計の中で、普通建設事業費が平成 26 年度以降は低く抑えられているが、既存建物や道路、橋梁等の維持補修に多額の費用がかか</li> </ul>

	<p>ると予想され、また 33 ページに「公共工事コストの削減」とあるが、現在は東北地方の復興工事や東京オリンピックの開催決定などによる工事需要の高まりで、資材費や人件費が上昇することが予想される。その状況でコスト削減を行うことは大変なことと思うが、努力を期待したい。</p>
<p>事務局 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・また 40 ページの「受益者負担の適正化」については、改革項目の中で重要であり、これからは市民の方にある程度負担を求めていくような時代は来ていると思う。例えばごみ処理について、全国の市町村においてはゴミの有料化を行っているところがある。行田市も検討してみてもどうか。</li> <li>・ただいまいただいた意見を関係課に伝え、協議検討させていただく。</li> <li>・今後の人口減少社会について、2040 年には全国 896 市町村が存続の危機と言われている中で、地方経済が立ち行かなくなると報道されている。また、人口減少社会は日本全国で発生していることで、行田市だけの問題ではなく、近隣市にもそれは当てはまる。その中でいかに市外住民が本市へ転入してもらおうか、その施策を打ち出すよう努力をお願いしたい。</li> </ul>
<p>事務局 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市間競争の時代を迎える中、今後、本市の魅力をさらに高め、人口流出に歯止めをかけていきたい。また平成 24 年の本市の合計特殊出生率が 1.13 と埼玉県の中では必ずしも高い方ではない。今後女性が安心して出産育児が出来る環境を、各部署と連携を深めながら改善していきたい。</li> </ul>
<p>事務局 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム 36 ページの「主な財政指標の改善」の取組内容において経常収支比率の上昇を抑制すると記載されているが、いつまでに何%の改善を目指し、また具体的な方策をどうするのかを記載することが重要であると考えます。またこれはプログラム全体にも当てはまることだと思ふ。</li> </ul>
<p>事務局 議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各プログラムについては、改革の取組みが検討段階のものや効果額などを設定することが難しい項目もある。今後、関係各課と協議して効果額などが設定出来るものに関しては、プログラムに記載していきたい。</li> <li>・ここまで、各委員から様々な意見が出たが、事務局はこれらの意見</li> </ul>

事務局	<p>を踏まえ内容を再度検討し、より良い行財政改革プログラムを策定していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ それでは、(4)「その他」について事務局から何かあるか。</li> <li>・ 前回の本委員会にて要望及び質問のあったものについて、順次お答えしたい。まずは「行田市の人口動態」について、資料に基づいて説明を行う。</li> </ul> <p>(別紙資料「行田市の人口動態」を基に説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次に「子宮頸がん予防接種ワクチンの実施状況」について説明する。本市では平成23年4月から、中学1年生から高校3年生までの女性を対象として、本人の希望により医療機関にて当該予防接種を行った場合、その接種代の全額を助成していた。その後平成25年4月から定期接種に位置づけられ、公費による接種が行われているが、接種を行うにあたり、厚生労働省から注意喚起がなされた経緯があった。そのため、現在は対象者に接種の通知を出すなどの積極的な勧奨は行わず、本人の希望がある場合のみ、接種することによる影響を説明した後、接種を行っている状況である。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口減少対策については、今後において大変重要な問題であり、資料にあるとおり原因を分析し、的確な施策を打ち出していく事を期待する。</li> <li>・ 他に「その他」について、意見はあるか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在、当該予防接種をされている人数はどれくらいか。また、市では厚生労働省の勧告を受け、どのように方針を決定したのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厚生労働省の勧告を受け、予防接種の積極的な勧奨を行っていない。そのため接種する人数は以前より少なくなっている。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ その他、何か意見や質問はあるか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当委員会の今後の開催予定は。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行財政改革の指針案と、諮問に対する答申案については、今回の委員会で承認されたので、後日委員長から市長へ答申案を提出する予定である。また行財政改革のプログラムについては、本委員会で伺った意見を踏まえ、庁内の組織において最終的な案の作成に移りたいと考えている。</li> <li>・ 指針及びプログラムは今秋を目途に策定を行い、市ホームページ等</li> </ul>

<p>議長</p> <p>事務局</p>	<p>で公開する予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針及びプログラムの策定後、取組に対する進捗状況や達成した効果額等を毎年度検証することになるので、本委員会を定期的を開催させていただき、検証結果の報告とそれに対するご意見等を伺い、その意見を新たな改革の取組みに反映させ、さらなる改善につなげていきたいと考えている。</li> <li>・ 今後の改革の状況について、良い報告を期待したいと思う。各委員についても今後ともよろしく願います。それでは、これで議長の職を解かせていただく。</li> <li>・ 以上を持って、第3回行政改革推進委員会を閉会する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">＜閉会＞</p>
----------------------	--